

いわいずみ



ふるさと岩泉の

大家族⑩

小本地区の山崎隆さん
(写真後列中央) 一家です。
孫3人もつなぎ服を着て
登場。いつもこの格好で、
学校が休みのときは手いれ
をしているそうです。

伊達町長の退職に同意 2

町の考えを問う (6 議員が一般質問) ... 6

台風災害調査特別委員会の中間報告 ... 14

新企画 まちの声 15



起立採決により全会一致で同意

伊達町長の退職に同意

8日の本会議において、町長が12月9日付で退職する旨の申し出について追加議案が上程され、全会一致で同意しました。

その後、伊達町長から「これ以上、勤務を継続することは不可能であり、皆さんにご迷惑をかけるわけにはいかないので退職のお願いをした。このような形で職務を全うすることのできなかったことにおわびを申し上げます。」とあいさつがありました。

解説!!

町長の退職とは?

町長が退職しようとするときは、退職する日の20日前までに議会の議長に申し出なければなりません。

議会の同意が必要なの?

町長が退職する日の20日より前の日に退職する場合は、議会の同意を得なければなりません。



12月定例会のあらまし

12月定例会は12月6日から8日までの3日間にわたり開かれました。

一般質問では6人の議員が登壇し、台風第10号災害復旧・復興関連など今後の町政運営や地域の抱える課題について論戦を展開しました。

また、町長から提出された1件の報告、2件の同意と18件の議案などを審議し、全て原案のとおり可決、同意しました。

計画策定や条例の制定・改正、補正予算に関する10件の議案は条例補正予算等審査特別委員会を設けて集中審査。その結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。

請願は2件提出され、総務常任委員会へ審査を付託。本会議において、全会一致で1件が採択、1件が一部採択となりました。



議場で退職のあいさつをする伊達町長

台風災害復興推進へ

平成28年台風第10号
豪雨災害からの復旧と
復興をはかるため策定
した「岩泉町災害復興
まちづくり計画」を可
決しました。

復興の目標は「みんな
で創り共に育てる
「いわいずみ」の実現
を掲げ、「集落の形成」

「防災体制の強化」、「産
業経済の再生」の三本
の柱で施策、事業を推
進します。

推進期間は、平成29
年度から33年度までの
5年間。復旧49事業、
復興138事業、全体
で339億円の事業を
計画しています。

町道・河川復旧着実に発注

災害復旧工事等の請負
契約締結に関する4議案
を可決しました。主な内
容は次のとおりです。

■二級町道石畑線ほか災
害復旧工事

▽金額1億3327万円

▽請負者 小野新建設(株)

■その他町道大平線ほか

災害復旧工事

▽金額 6134万円

▽請負者 小野新建設(株)

■準用河川宇津野沢川河

川災害復旧工事

▽金額1億3824万円

▽請負者 (株)奥村組東北
支店(仙台市)

■小本堆肥センター増築
工事

▽金額1億2096万円

▽請負者 (株)畑中組

条例制定・改正と補正予算の 主要内容

◇岩泉町子育て応援住宅条例の制定

子育て応援住宅12戸の設置と管理に関する事項を定めるものです。

◇一般職の職員の給与に関する条例及び岩泉町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

県人事委員会勧告に準じる措置で一般職の給与を平成29年4月にさかのぼり平均0.15%、勤勉手当を0.05月引き上げるものです。

◇岩泉町定住促進住宅条例の一部を改正する条例

住宅3棟7戸の追加等に関するものです。

◇福祉灯油助成 400万円

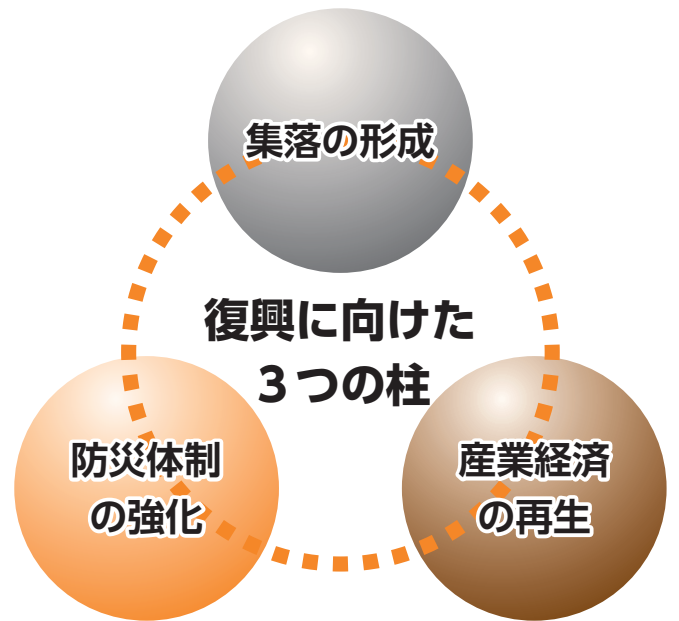
町民税非課税世帯で65歳以上などの世帯を対象に助成するものです。

◇わさび育苗施設建設工事 5953万円

わさびの育苗施設を旧小本中学校跡地に整備するものです。

◇災害公営住宅整地工事 2億3648万円

岩泉地区(上町地内)に台風被災者向けの災害公営住宅建設に係る用地造成、団地内の道路と上下水道の整備をするものです。



12月補正予算の状況

| 会計名 | 補正額 | 補正後の予算額 | |
|------|--------------|------------|-----------|
| 一般会計 | △7443万円 | 148億1412万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険(事業勘定) | 994万円 | 15億7590万円 |
| | 介護保険(事業勘定) | 29万円 | 15億3520万円 |
| | (サービス事業勘定) | 1万円 | 1163万円 |
| | 公共下水道事業 | 277万円 | 1億7557万円 |

定住化に向けて動き出す



完成した子育て応援住宅（岩泉地区）

条例補正予算等審査特別委員会（菊地弘巳委員長）では、岩泉町災害復興まちづくり計画の策定および条例改正や補正予算を慎重に審査しました。審査の結果、付託された10議案すべてを可決すべきと決定。その後の本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。委員会の審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

子育て応援住宅

問 居住できる期間は子どもが18歳になる年度までと決められているが、延長は可能か。

答 基本的には、子どもが高校を卒業するまでを子育て期間としているので、居住期間の延長はしない。ただし、その後も町内に住むことができるよう、事前に相談を行う。

問 入居するまでのスケジュールは。
答 モデル住宅の内覧会と入居募集を1

月中旬から行い、2月中には入居者の決定をする。3月から入居できるように進めていく。

問 入居希望者が多かった場合の選定方法は。
答 入居資格を有していれば応募でき、選定は抽選で行う。

問 住宅が空いた場合の対策は。
答 入居要件の緩和などを含めた検討を進めながら、全戸に入居されるよう努める。

目的

子育て世帯の生活の安定と福祉の増進に寄与するためです。



子育て応援住宅って何？

住宅の場所

岩泉地区（和川原地内）に住宅12戸を建設します。

入居資格

・小学校就学前の子を1人以上扶養し、同居していることです。

・世帯の前年所得が、月額15万8千円以上48万7千円以下であることです。

入居手続

敷金（家賃3カ月分）の納付が必要ですが。

居住期間

入居している全ての子が18歳に達する日以後の最初の3月31日までです。

家賃

月額3万円です。

※その他詳細は、役場・地域整備課に確認してください。

定住促進に3棟7戸を追加

問 入居するまでのスケジュールは。

答 12月中旬には住宅が完成する予定である。1月14日に内覧会を行い、15日から募集の受付を予定している。3月上旬から入居可能としている。

問 町営住宅、子育て支援住宅、定住促進住宅等の情報窓口の一本化は可能か。

答 各住宅と空き家情報紹介、案内も含め窓口の一本化に向けて検討していく。

被災者支援の現状

問 台風第10号災害被災者に対する、よりよい・みらいネットの現在の活動内容は。

答 当初の計画どおり、生活再建に向けた相談会を毎週金曜日開催し、被災者に寄り添った支援を継続して行っている。

問 災害当初と今では被災者の相談内容に変化はあるか。

答 発災当初は、支援制度に係る相談が多かったが、1年経過した現在は減少傾向にある。一方、緊急支援が落ち着いたあとは、家族関係や人間関係の相談が増えている。また、住宅再建、相続や登記に関することについて、今も相談がある。

今後も保健師による健康調査と併せながら、個人の状況に合わせたきめ細かな支援を続けていく。



保健福祉課でも相談を行っています

河川改修工事の進捗状況

問 県工事の進捗よく状況とこれからの見通しについて情報があるか。

答 12月現在では、補償物件の調査・用地測量を進めており、これから本格的に用地交渉に入ると聞いている。県工事ではあるが、町でも必要に応じて協力していく。



河川改修により住宅の移転を余儀なくされます

福祉灯油助成

問 福祉灯油助成の対象世帯はどのくらいか。

答 町民税非課税世帯のうち、高齢者のみの世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯の800世帯を見込んでいる。

問 周知方法は。

答 12月15日の町広報誌に申請のお知らせを掲載している。また、ぴーちゃんねつとによる全戸配信を行い、さらなる周知徹底をはかっている。今後とも申請に漏れが生じないように努める。



子育て応援住宅と定住促進住宅の位置図（岩泉地区）

一般質問

12月6日に一般質問が行われ、6人の議員が台風災害関連及び平成30年度の予算編成等について質問しました。
内容を要約して登壇順（質問順）に掲載します。

6人の議員が質問

●三田地 久志（7ページ）

- ・被災生活橋の予算確保を
- ・読書量日本一を目指せ

●畠山 和英（8ページ）

- ・商工業振興策の拡充強化を
- ・予算編成方針と重点施策を示せ

●畠山 昌典（9ページ）

- ・復旧工事業者の宿舍確保を

●坂本 昇（10ページ）

- ・危機管理体制の確認を
- ・龍泉洞増水時の観覧対策を

●林崎 竟次郎（11ページ）

- ・災害公営住宅の入居時期は
- ・移転地の具体的な内容を

●野館 泰喜（12ページ）

- ・事業の遅れに伴うリスクは
- ・生活再建支援金の申請延長は



一般質問とは

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねること、あるいは報告や説明を求めることを言います。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。
なお、質疑全文を記録した会議録は、3月下旬ごろから町立図書館または役場各支所図書室で閲覧可能となる予定です。

町固定資産評価審査委員 下向さんと山下さんの選任に同意

町固定資産税評価審査委員に、岩泉の下向秀夫さんと小川の山下洋一郎さんを選任することに同意しました。

いずれも前任者が平成30年3月で任期が満了となるため新たに選任されたものです。任期は3年間です。



やました よういちろう
山下 洋一郎さん
(73)



しもむかい ひでお
下向 秀夫さん
(70)



み た ち ひ さ し
三田地久志 議員

被災生活橋の予算確保を

補助事業を活用する 伊達町長



早急な本設への支援が求められる生活橋

問 町の単独費で行う被災生活橋73カ所の本復旧の予算確保に、岩泉ホールディングス(株)傘下の保有株式を外部に譲渡し、本設に充てる考えはないか。

町長 被災生活橋の本設については、既存の制度である「生活道及び農道整備事業費補助金交付要綱」に基づく補助事業を活用したい。9割補助で上限を1千万円としており、こ

れまで2件の申請を受けている。この事業の財源として、現在寄付を募っているところである。
岩泉ホールディングス(株)の町保有株式の譲渡による財源の確保は、

株式の原資に起債を財源とした出資金が投入されていることから、この償還が終了するまでは当面難しい。

読書量日本一を目指せ 順位にはこだわらない

問 読書の最大の効果は想像力を培うことになり、映像ではなく、活字からその情景を想像することで、学力の向上に繋がるとの研究結果が出ている。

町を挙げて読書量日本一を目指す、そんなスローガンを掲げるべきではないか。

教育長 町では各種企画展を開催し、図書館利用者の増加をはかりながら読書量の向上を推進している。読書量の順位にはこだわらない。

また、学校、家庭、ボランティア等との連携により、さらなる読書の推進をはかっている。

その他の質問

▼町有林の売却益を町の単独事業の原資に

はたけやまかずひで
富山和英議員

商工業振興施策の拡充強化を

条例の制定に向け取り組む 伊達町長



問 地域経済の振興発展に資するため、「小規模企業振興に関する条例」と国の創業補助金制度の申請要件となる「町創業支援計画」を策定する考えはないか。
また、台風災害からの事業再開を支援する「地域な
りわい再生緊急対策交付金」制度の新年度の対応は。

町長 「小規模企業振興」「創業支援計画」の策定
に関する条例」の制定と
は、商工業者の持続的な

発展による地域経済の振興や雇用創出の観点から取り進めていく。
「地域なりわい再生緊急対策交付金」は、これまでに31社が申請してお

り、今後は26社の申請見込みがある。本年度中に復旧完了できない事業者が見込まれることから、平成30年度予算の確保について県と協議している。

予算編成方針と重点施策を示せ／台風災害復旧を最優先に重点化

問 平成30年度の予算編成方針を財源の確保面を含めて示されたい。併せて、重点的に取り組む施策について伺う。

町長 平成28年の台風豪雨災害の復旧を最優先課題として捉え、「まちづくり総合計画」に掲げる施策と「災害復興まちづくり計画」に登載予定の事業に重点化し、編成作業を進めている。
財源は、国や県の財政支援制度を最大限活用し

つつ、町の各基金を有効かつ積極的に活用している。また、重点的に取り組むべき施策としては、本格的な災害復旧事業の推進に尽きるものと考えている。

その他の質問
▼ 中小企業者等公募事業補助加算支援事業の継続について
▼ プレミアム付商品券・観光券について



災害から再建途上の木工事業所



はたけやま さのり

富山昌典 議員

工事業者の宿舎確保を

必要な措置を講じる

伊達町長

問 現在、町では災害復旧公共土木工事の完成に向け工事業者と共に努力しているが、思うようなスピードで工事が進んでいない。その大きな原因の一つは技術者と作業員を十分に確保できないことがあり、その理由に宿舎の不足がある。その対策について、何か方策があるか町長の所見を聞く。

町長 災害復旧の公 保は重要な課題である。共土木工事は5割を ると認識しており、超える発注率である その方策のひとつとが、実質の進捗率は して現在、宿舎の建設3割に届いていない 設に向け関係業者と 交渉を進めている。作業員宿舎の確

旧校舎の活用は

宿舎情報を提供している

問 学校の統廃合により使われなくなった旧校舎を作業員用宿舎に改築して活用は出来ないか。

町長 工事業者に対し使用可能な宿舎情報を提供しており、その中には使用されていない校舎情報も入っている。現在、空き校舎を使用したいという業者はなく、今後利用の相談があれば対処していく。



復旧工事を促進するため空き校舎を宿舎として活用すべきです

さかもとのほる
議員

危機管理体制の確認を

防災会議で見直しする 伊達町長



問 東日本大震災、昨年の台風10号被害と町にとって未曾有とも言える事態がこの6年間で2度も発生している。

非常事態における全庁体制及び町民との協働体制について再確認をする必要がある。

防災・危機管理委員会等を設置するとともに、安心安全なまちづくりのための議論をより深めていくべきであると思うがどうか。

龍泉洞の増水時観覧対策を／サービス向上に工夫を凝らす

問 龍泉洞が町営化し、観光名所となつて早50年以上が経過しているが、大雨で増水する度に閉洞を余儀なくされてきた。

これからも大雨は予想されることから一部入洞を含め何らかの対策が必要である。

町長 増水によって閉洞した場合は、新洞科学館のみ見学が可能である旨を伝えた上で、観覧を希望するお客さまには通常料金の半額でチケットを

販売している。その上で、手元に残る龍泉洞観覧券には有効期限がない旨をお伝えし、次回の来訪を促しているところである。

町長 防災事業推進のため、防災関係機関等で構成する岩泉町防災会議を設置しており、危機管理に対する体制は確立され

ているものと認識している。今後とも必要な役割を町防災会議で担うよう見直していく。

増水時に、トンネル出口から入洞させ、一定区間を観覧させる、というサービスも考えられるが、危険な状況を踏まえ、人員配置等の安全対策を十分に講じた上で取り組む必要がある。いずれ、観光客のサービス向上のため、可能な限りの対応を検討していく。

その他の質問
▼津波防災におけるソフト面対策について



常に見直ししながら進められています



はやしぎききょうじろう
林崎竟次郎 議員

災害公営住宅の入居時期は 30年度の工事完了から順次 伊達町長



災害公営住宅の建設予定地（岩泉・上町）

問 災害公営住宅の具体的整備計画と完成時期を示せ。
また、災害公営住宅の家賃軽減策が必要と考
えるがどうか。

町長 災害公営住宅の 事と建築工事を行う。
建築場所は岩泉、小川、 完成住宅から順次入居
小本、安家の4地区で、 が可能となる。
合計10団地を選定して 家賃の軽減策につい
ている。年度内に岩泉地 ては、東日本大震災の
区上町団地の整地工事 時のような災害公営住
に着手し、平成30年度 宅の家賃軽減事業への
には、全地区の整地工 国、県からの財源が期

待できず、町単独での
軽減措置には多額の費
用が必要となる。今後
も早急かつ慎重に検討
していく。

移転地の具体的な内容を 30年度事業完了を目指す

問 町が整備する移転地に住宅建設を考えてい
る被災者は、はっきりとした場所、時期が示さ
れずに不安になっている。

災害公営住宅と同様に、具体的な場所と時期
を早く示すべきと考えるがどうか。

町長 平成30年度中の 向けて「岩泉町災害復
事業完了を目指し、岩 興まちづくり計画」の
泉、小川、小本、安家 配布による周知を行
の4地区に合計5団地 う。さらに、各種説明
を整備する計画で進め の場を設ける予定であ
っている。また、町民に る。

その他の質問

- ▼ 台風10号被災者の国
保医療費・介護保険
利用料の減免措置の
継続について
- ▼ 国民健康保険広域化
問題への対応につい
て
- ▼ 子どもの医療費助成
を小学校卒業まで現
物給付化することに
ついて

野館泰喜議員

事業の遅れに伴うリスクは

町費の負担増は避けられない
伊達町長

問 すでに復旧復興計画はできたとと思うが、問題はそれとおりにいかなかった場合である。その場合にどんなリスクがあるか、共通認識を持つ必要がある。

激甚災害の指定を受け、大部分を国からの助成金で賄えるが3年という期限付きだ。繰り延べせざるを得ない状況が推測されるが、その場合に国の補助率の低減と町負担の増大の程度を示せ。

大きな不安要素の一つに県の河川改修工事がある。住民説明会で5年を用途に完了するという説明を受けているが、進展が見えない。用地交渉など、町はどのように対処するのか。

町長 災害復旧事業は平成32年度までの5年で完



一日も早い復旧が待たれます
(有芸地区・町道長下線)

了させなければならぬ制度となっている。本町の被害規模はあまりにも甚大であり、岩手県内外の各市町村の応援職員の支援を得ながら総力を挙げて5年では完了できない可能性もある。

その場合、補助対象外となり、正確な町費の負担増を示すことはできないが、かなりの負担額になると認識している。岩手県の河川改修事業の遅れについては、用地交渉に入る準備が整ってきている段階と聞いている。用地担当職員を増員し、県と町が相互に協力体制を深めスピードアップに努力する。

生活再建支援金の申請延長は／事情により期間延長は可能

問 生活再建支援金の申請期限は約3年となっている。しかし、河川改修の遅れ等によって間に合わない可能性がある。何年延ばせるのか。

複数世帯で400万円の助成金制度を活用すべきだ。空き家のデータを利用して中古住宅の売買を斡旋すべきと思うがどうか。

町長 被災者再建支援法に定められている期間は、基礎支援金が13か月間、加算支援金が37か月間となっている。しかし、められれば期間延長は可能だ。

空き家データについては町のホームページで情報を掲載している。

皆さんからの 請願

12月定例会に提出された請願は2件でした。
総務常任委員会に審査を付託した結果、次のとおり決定しました。

陳情

| 請願件名 (付託委員会) | 請願人 | 紹介議員 | 審査の結果 | 本会議での結果 |
|-------------------------------------|--|-------|-------|-------------------------|
| 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める請願(総務) | 岩手県教職員組合 下閉伊支部 支部長 菅原昭敬 | 小松ひとみ | 採択 | 採択に全員賛成。国の関係機関に意見書を提出 |
| 誰でも安心できる年金制度の実現を求める請願(総務) | 全日本年金者組合 岩手県本部 代表 山田勝哉 全日本年金組合 宮古支部 代表 中村國雄 | 林崎竟次郎 | 一部採択 | 一部採択に全員賛成。国の関係機関に意見書を提出 |

臨時会

平成29年第7回と第8回の主な内容をお知らせします。
提案された議案は、審査の結果すべて全会一致で原案のとおり可決しました。

第7回(10月12日開催)

わさび加工施設の建設工事に4億円

この臨時会では、承認1件のほか、平成29年度一般会計補正予算案、工事請負契約締結案など議案11件を審議し、1件の報告を受けました。

- ▽ 金額 1億368万円
- ▽ 請負者 東日本電信電話(株)岩手支店
- ▽ 工事名 わさび加工施設等建設工事
- ▽ 金額 4億1256万円
- ▽ 請負者 (株)カガヤ
- 工事名 一級町道鼠入川線ほか災害復旧工事
- ▽ 金額 1億3856万円
- ▽ 請負者 小野新建設(株)
- 工事名 一級町道中沢線ほか災害復旧工事
- ▽ 金額 1億6200万円
- ▽ 請負者 佐藤建設(株)
- 工事名 その他町道南沢線ほか災害復旧工事
- ▽ 金額 1億2312万円
- ▽ 請負者 県北緑化(株)
- 工事名 その他町道上有芸水堀線道路災害復旧工事
- ▽ 金額 1億5336万円
- ▽ 請負者 熊谷建設(株)
- 工事名 準用河川鼠入川河川災害復旧工事
- ▽ 金額 2億3068万円
- ▽ 請負者 小野新建設(株)
- 工事名 林道平庭線災害復旧工事
- ▽ 金額 1億8360万円
- ▽ 請負者 県北緑化(株)
- ▽ 金額 1億6394万円
- ▽ 請負者 小野新建設(株)
- 工事名 その他町道氷渡線ほか災害復旧工事
- ▽ 金額 7722万円
- ▽ 請負者 県北緑化(株)
- 工事名 日影橋ほか災害復旧工事
- ▽ 金額 1億7031万円
- ▽ 請負者 県北緑化(株)

第8回(11月6日開催)

町道早坂高原線の災害復旧工事に2億7000万円

この臨時会では、工事請負契約締結案の議案3件を審議し、2件の報告を受けました。

- 工事名 その他町道早坂高原線ほか災害復旧工事
- ▽ 金額 2億7000万円
- ▽ 請負者 (株)畑中組
- 工事名 その他町道袋綿松橋線ほか災害復旧工事
- ▽ 金額 7722万円
- ▽ 請負者 県北緑化(株)
- 工事名 日影橋ほか災害復旧工事
- ▽ 金額 1億7031万円
- ▽ 請負者 県北緑化(株)

中間報告

平成28年台風第10号豪雨災害復旧・復興推進調査特別委員会

復旧・復興に向け調査

台風第10号豪雨災害からの復旧・復興の推進に関する調査を目的として、議員発議により、議長を除く全員の議員で構成する特別委員会（野館泰喜委員長）を平成29年6月9日に設置しました。今回は、その活動状況を中間報告の形で掲載します。



現場で説明を聞く委員

がれき処理の現場調査

平成29年10月12日、町内中里地区において災害廃棄物の分別処理等を行っていることから、その進捗よく状況について現地調査を行いました。災害廃棄物の種類ごとにエリアを分けて処理作業が行われており、巡回して説明を受けました。約80人の作業員によって順調に進んでいる状況が確認できました。鉄くず類はほぼ完了し、全体も平成30年12月には完了できる見通しです。

平成29年12月までの現状

12月6日から8日まで第4回定例会が行われました。その中で、一般質問、委員会質疑を通じて把握した内容について報告します。

保健福祉課
被災者生活再建支援金（加算支援金）の申請状況と今後の再建見込みについて確認しま

(単位：世帯)

| 区分 | 岩泉 | 小川 | 大川 | 小本 | 安家 | 有芸 | 合計 |
|--------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|--------------|
| り災世帯数： 全壊・大規模半壊 | 218 | 138 | 22 | 125 | 87 | 1 | 591 |
| 申請済み世帯数 (完了率) | 127 (58%) | 78 (57%) | 14 (64%) | 89 (71%) | 24 (28%) | | 332 (56%) |
| 町外 | 建設 | 1 | | | | | 1 |
| | 購入 | 2 | | | 1 | 3 | 6 |
| | 賃貸 | 1 | 1 | | 4 | 1 | 7 |
| | 建設 | 10 | 3 | | 2 | 1 | 16 |
| 町内 | 購入 | 1 | 9 | | | | 10 |
| | 補修 | 100 | 63 | 14 | 81 | 19 | 277 |
| | 賃貸 | 12 | 2 | | 1 | | 15 |
| 未申請世帯数 | 91 | 60 | 8 | 36 | 63 | 1 | 259 |
| 申請対象外 | 47 | 34 | 6 | 12 | 38 | 1 | 138 |
| 申請対象世帯 | 44 | 26 | 2 | 24 | 25 | | 121 |

した。（右表のとおり）
地域整備課

住民説明会でのロードマップの発注率は50%超ですが、着手率が30%弱ということで、工事発注後から着手までいろいろな問題が出ています。下請けの確保や宿泊施設の不足などが挙げられます。

岩泉土木センター

河川工事の遅れが気になる場所ですが、小本川、安家川ともに年度内の工事着手を目標に動いています。用地係の増員と町との連携強化によってさらに拍車をかけていきます。

なしえへ まちの 声



～町のみなさんの声を聞きました～

子ども達のために

栗石町から、主人の実家がある岩泉に戻り、あっという間に半年が過ぎま



おちせ 落瀬 すみこ 澄子さん (岩泉・45歳)

した。春が来れば一年になります。四年ほど岩泉を離れていましたが、変わらずに接してくれるところ、お帰りと元気に声を掛けてくれるところ、親しみやすい岩泉の皆様に思いやりを感じると共に、感謝の気持ちでいっぱいです。ですが、少し不安なところもあります。六年前の大震災に続き、台風10号による壊滅的な被害により、町を離れた人もいます。観光客も増えてきたといわれていますが、昔に比べればまだまだで、町全体に活気がないように思えます。

町を離れた人たちが、もう一度戻るためには、安心して働ける職場、子育ての環境、子どもからお年寄りまで、幅広くコミュニケーションがとれる施設の充実。この三つは必ず必要だと思っています。町内に公園があっても良いと思います。ママ友が、おしゃべりできるカフェ、町営住宅、アパート……。作って欲しいものは限りなくあります。もっと若者の声を聞き、意見を取り入れ、これから育つ子ども達のために、岩泉町をみんなで盛り上げていくことが大切だと思います。

自然豊かなこの町に

主人の母方の祖父が釜津田に住んでいて、義母は疎開した当時、岩泉町にいた話をききました。また、主人は結婚前に岩泉線に乗るために一人旅で岩泉にきたことがあり、美味しい水と空気に感動して、「いつかまた家族と来



おおき もとこ 大木 資子さん (岩泉・50歳)

たい。」と思っていた。そして、平成26年の夏の家族旅行先に岩泉を選びました。本当に、空気が違うことに感動しました。しばらくすると、「秋の岩泉は、どんなかしら。」と、気持ちが悪くなりました。移住願望があったわけではないけれど、冬にも岩泉を訪れて、みずまつりでの夢あかりに参加させてもらいました。そして気がつくと、翌年の春に主人が、夏には娘を連れて私が、移り住んでおりました。今思えば、「360度山に囲まれた自然豊かなこの町に住みたい！」という思いだけで3人が動いたのです。そんな魅力が、この岩泉にはあると思います。住んでみると、子どもを大切に育ててくれる大人たちの目があります。



この看板が目印です

医療機関の診療科が少ないことと、住宅事情が十分ではないことが残念ではあります。私たちのパン屋開業にしても、さりげなくも暖かく応援してくださる人たちがたくさんで、心から感謝しています。



私・の・好・きな・ア・ン・グ・ル・⑧2

いわいづみ再発見

「とにかく怖かった」



50数年前の当時、自宅は裸電球に薄っぺらいガラス戸、隙間だらけの障子。父は夕方から晩酌をしていた。普段は寄り付きたくもない酒臭さ。しかしあぐらをかいている父の膝に入り込んで、じっとしている自分がいた。

かなり遠くの方から気配を感じ…ガタッ、ガタガタッ、と戸が鳴り、なまみが大声で、「ウォー、ウォー。わりい子はいねえがぁー。泣く子はいねえがぁー。いっこを聞かねえ子はいねえがぁー。山やつれでいざやぁー。」

父は「家にわりい子はいねえすけんに。これ飲んで山で帰っておぐりゃんせ。」父のはく息となまみの息の臭さが同じだった。自分をなまみに渡さなかった父が神様に見えた日々でした。



やえがしてつあき
八重樫定津彰さん
(岩泉 56歳)

町内の写真愛好家が撮影した本町の風景を紹介するコーナーです。

編集後記

平成30年、戌年。本年が岩泉町にとって、町民の皆様にとって良い年となりますように。

18年の長きにわたった伊達町政が予期せぬ突然の辞任劇に見舞われ、混乱の12月議会を体験しました。復旧・復興のさなかの出来事で町民の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。

新たな町長の下で町民に寄り添った町政の推進が為されるものと信じています。

なお一層気を引き締めて、元の岩泉を一日でも早く取り戻すために活動しなければなりません。改めて、重い責任を痛感しています。

(広報広聴常任委員 野館泰喜)

広報広聴常任委員会

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 八重樫 龍介 |
| 副委員長 | 小松 ひとみ |
| 委員 | 野館 泰喜 |
| | 三田地 久志 |
| | 山和 英典 |
| | 山山 昌典 |



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。